



いしだ かずひろ ともこ
石田 和弘さん・智子さん

就農年月：二人とも平成21年4月(就農時35歳)

就農場所：勝山市鹿谷町志田

出身地：和弘さん 勝山市(兼業農家出身)

智子さん 鯖江市

35歳で脱サラして夫婦でキク栽培を開始!

- ・親のキク経営を引き継ぎ、「奥越の菊」産地を守る後継者として、夫婦で就農
- ・小ギクの大量生産と長期出荷による経営の安定を目指す。



経営内容

品 目：露地ギク(70a)

販売先：JA出荷、小売店への直販

労働力：夫婦

農業を始めた

きっかけは？(就農の動機)

サラリーマンをしながら、栽培から販売まで自分で行える農業に興味を持っていました。

父親のキク栽培を引き継いで伝統あるキク産地を守り、地域貢献をしたいと決意し、夫婦二人で脱サラ、就農しました。





軌道に乗るまでの生活資金、運転資金が必要です。また、何を作るか品目選びが最も重要だと思います。

就農までの道のり・苦労した点

1 栽培技術の習得

経験と知識を持った信頼できる指導者が必要です。父親や近隣のキク生産者に教えるを仰ぎ、1、2年の早い段階で、自分なりの栽培規模の限界量、年間の労務サイクルが分かったことで、年間スケジュールも立てられるようになり、収益も安定しました。

2 農地の確保や施設などの整備

連作障害回避のため、実家の農地の他に、一部は借りています。

もともと父親が露地ギク栽培を行っていたため、初期投資が少なく済み、維持管理にも苦労しませんでした。

3 家族の理解など

スタート前の十分な話し合いと、時間が必要だと思います。



キクの定植作業